

令和5年度 京都市立二条城北小学校 経営方針

学校教育目標

夢に向かって　自分らしくたくましくひらいていく　二条城北の子

やってみよう！チャンス、チャレンジ、クリエイト

～学びいっぱい！笑顔いっぱい！元気いっぱいの学校を目指して～

めざす子ども像

学びいっぱい 「考える子」 … 自分で考え 進んで行動する子

笑顔いっぱい 「感じる子」 … 力を合わせ 高め合う子

元気いっぱい 「かかわる子」 … 思い切り遊び 心も体も元気な子

育成すべき資質・能力

自己肯定感：自分の良さや可能性を認識する力

自己有用感：自分の価値を認め、人の役に立っていると認識する力

取組のキーワード

R4：「自分のいいところ」の再自覚

↓

R5：「自分のよさを生かす」…自信の可視化

めざす学校

一人ひとりが自信を持ち、目を輝かせ、笑顔の学びがある学校

【笑顔で登校し、笑顔で下校する二条城北小学校】

- ☆「わかる喜びと学ぶ楽しさ」が感じられる授業がある。
- ☆一人ひとりが力を発揮し、認められる場がある。
- ☆学び合い、関わり合い、より高め合う「学ぶ集団」がある。
- ☆安心・安全が守られる場である。

【教職員が力を十分に発揮できる やりがいのある二条城北小学校】

- ☆教職員が健康で活気にあふれている。
- ☆常に子どもの側に立った姿勢で指導できる。
- ☆生き生きとした教育活動の実践を通して、子どもの成長が実感できる。
- ☆情熱を持ち、協働体制を通して教育活動を推進できる。

【保護者や地域の人々と 手を携えて育てる二条城北小学校】

- ☆家庭・地域の人的・物的資源へ積極的に働きかけ、学校と課題を共有し何ができるのか、共に考える。
- ☆基本的な生活習慣の確立や自学自習の姿をめざし、家庭学習や読書の習慣をつける。
- ☆学校・学級からの情報発信や保護者地域の思いや願いの収集を積極的に行う。
- ☆地域コミュニティの活性化を図る。

《「めざす学校」を支える4つの柱》

◎ 自学自習と自立力

- 生きて働く学力の定着
- 主体的な学びと育ちのできる集団

R5

自分の力を信じ積極的に実践する

◎ 人権感覚と行動力

- 自己理解・他者理解に支えられた人権教育
- 安心安全が守られる仲間集団

R5

自分の良さや可能性を生かす

◎ チャレンジ精神としなやかな心、たくましい心身

- よりよく生きるための実践力
- 対話による柔軟な人間関係の構築

R5

自分の心や体の健康を意識し、様々なことにチャレンジする

◎ 規範意識と自律力

- 互いに高まり合う規範意識
- あきらめずに立ち向かう忍耐

R5

自分や仲間等との対話を通して、自ら行動し課題解決する

教育目標達成のための基本方針

人権尊重を基盤にし、一人ひとりを徹底的に大切にし、

子どもの個性や能力を生かし伸ばす教育を進める

◎教育活動全体を通して人権尊重の意識を高め、教師と子ども、子ども達相互の絆づくりを大切にし、あらゆる偏見や差別のない信頼関係に基づいた温かい教育の場の実現を図ると共に、子ども達が安心して安全に過ごせる場をめざす。

◎難聴教育を本校の人権教育の柱として位置づけると共に、これまでの同和教育の成果を踏まえ、全ての子ども達の学力向上と家庭の教育力の向上の支援等、人権教育の取組を基本に据える。

【学びいっぱい 考える子】に育てるために

*学ぶ意欲を高め、確かな学力の定着を図る二条城北教育を推進する。

◎自分の夢や願いの実現に向け、豊かに主体的に生きるために必要な基礎・基本の徹底を図ると共に、一人ひとりが自分の考えを持ち、それを表現して活用する力を身につけられるよう、指導内容や指導方法の改善に努める。

【笑顔いっぱい 感じる子】に育てるために

*互いに支え、高め合うことのできる子どもたちの絆づくりを支援する。

◎人や自然・社会とふれ合う豊かな体験活動など仲間と共に学び感じ合う中で、すべての子どもが自己有用感を感じ、相手のよさを見つけようと、互いに協力する子どもも相互のつながりを積極的に支援する。

【元気いっぱい かかわる子】に育てるために

*自分を大切にし、たくましい心と体を育てる教育を推進する。

◎望ましい生活習慣の実践を通して、自分の健康や安全を管理し、生活を改善しようとする意欲や態度を育てる。

【子どもの育ち】を共に支えるために

*家庭・地域に信頼され、互いに高め合う開かれた学校をつくる。

◎家庭・PTAと連絡・連携、情報共有し、「学ぶ意欲」と「学ぶ習慣」をつけるため、生活リズムの確立や家庭学習の習慣化に向けた取組を、家庭・地域と共に推進する。

◎教科学習や総合的な学習、校内外での様々な行事、部活動、読書活動、環境整備など、様々な「ひと」との出会いの中で子ども達を育てる。

最重点課題

「学力向上」と「授業改革」 「たくましい心と体」と「体力の向上」 「対話」と「自己理解」

◎全ての教育活動において「子どもを守る」という視点と「子どもを育てる」という視点から、徹底的に子どもの人権を尊重する。

◎学力を「読み・書き・計算」といった知識・技能（学んだ力）知識ベースのみだけでなく、資質能力ベースでも捉え、「思考力・判断力・表現力」（学ぶ力）及びそれらを支える「学に向かう意欲」も含め、総合的な力として捉え育成する。

◎色々な条件の中で支援を必要とする子どもを焦点化し、徹底的に子どもに寄り添い、個に応じた指導のあり方や統一した授業スタイル（めあて・まとめ・ふりかえり）について授業実践を通して研究するとともに、GIGA 端末を使った教育実践を積極的に推し進める。

◎地域や保護者に教師の顔が見える取組を推し進め、学力向上に向けた学習習慣の確立、生活リズムの向上を図るよう具体的な働きかけを行う。

*確かな学力をつけるために

①一人ひとりが輝く 生徒指導の3機能を生かした学級経営

- ・「学ぶ学級集団」を育てる指導に全力を
- ・焦点化した子どもの姿を通した「子ども理解」を
- ・叱るべき時はきちんと叱り、教えるべき時はきちんと「教える指導」を
- ・掲示物を工夫し、日常の「言語環境の整備」を

②一人ひとりの学力を最大限に伸ばす GIGA 端末を活用した授業改革

- *「授業で育てる」、子どものつまずきを明確に
- *焦点化した「子どもを常に意識した」授業の展開を
- *一人ひとりの学習活動の場を確保し、GIGA 端末の効果的活用の設定を
- *家庭学習を中心とした「生活リズム」の確立を

③人とかかわる力を育てる 教育活動

- *二条城北ピアサポートを通して、人と「かかわり合う喜び」を
- *「生きる力」を意識した、二条城北教育の問い合わせを
- *家庭訪問を通して、家庭の果たす役割の「発信・提起」を
- *学校運営協議会を通して、学校教育活動に「参画・熟議」を

チームワークで動き 見える 二条城北

自校の課題

『未来に 夢広がる 学校づくりを全員で』

- ① つける力を明確にして、子ども自身が主体的に学ぶ姿の育成
- ② 育てたい資質・能力を明確にし、主体的な学びにするための「わかる授業」の構築
- ③ 子どもの安心安全が守られる学級経営
- ④ 家庭との連携徹底 自学自習の力の育成

つながりあう学校 動く教職員集団

やってみよう！チャンス・チャレンジ・クリエイト

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 あたたかい眼差しで | いつも子どもに寄り添って |
| 2 隙間のない手だて | これでだめなら 次の手を |
| 3 徹底的に指導しきる | 一点の点数にこだわりましょう |
| 4 研修は教師の命 | 自分磨き、教職員も学びあおう |
| 5 矢印は自分に向けて | 自分の指導を常に振り返ろう |
| 6 保護者と共に | 保護者の願いに耳を傾け |
| 7 継続は力なり | あきらめたら後退する |